

## 色染昭45年卒クラス会

平成28年1月3日に、毎年恒例の45年卒の色染クラス会を開催しました。場所も同じで、高辻壬生川（阪急四条大宮から徒歩10分）の「酒肴処しんざん」でした。参加者は昨年より二人増えて8名で近年になく盛大になりました。

料理は、“おせち”、“刺身”、“鮎寿司”、“炭火焼き河豚”、“カニすき（雑炊付き）”の豪華フルコースです。今年は琵琶湖の絶品“鮎寿司”が出てきました。いつもは座敷が貸切り状態でしたが、珍しく隣グループが新年会していて賑やかでした。

出席者の近況として

- ①久しぶりに参加の島津君は、京丹後市の臨時職員として新蚕糸開発のプロジェクトのため研修続けている様子です。
- ②坂本君は、西脇にて技術士事務所を開設していて、息子さんのおめでたの準備で疲れたとのことでした。踊りは今回場所が狭く披露できませんでした。
- ③山本君は、昨年「繊維ニュース」に掲載されその後各方面から問い合わせ多く、メディアの影響に驚いていました。
- ④京都の黒染めの社長の山田憲司君は、「京都の染め職人たち」という本に夫婦の記事がでていた。京都の銭湯巡りした後は居酒屋で飲むという新境地を開拓しています。
- ⑤日本繊維技術士センターの事務局長の嶋田は、業界マイスターとして12月から繊維学会誌に三ヶ月連載されることになっています。
- ⑥西村君は、中国の仕事で月に20日間を続けています。海外で食あたりは刺身食べて三回経験したようです。
- ⑦堀田君は、息子さんがバルセロナで日本料理屋を開いているが日本みたいに儲け一辺倒の意識ないとヨーロッパ人との生き方の違いを話してくれました。
- ⑧八木君は、毎年楽しみとなっているブラジルの女性の写真と話や株で儲けたお金でリホームして風呂を満喫しているなど興味尽きない話が続き、3時間半があつという間に過ぎ、来年の再会を期して別れました。

(色染昭45 嶋田幸二郎、西村元廣)



左から 西村、八木、山本、山田、島津、堀田、坂本、嶋田 昨年度発刊の本